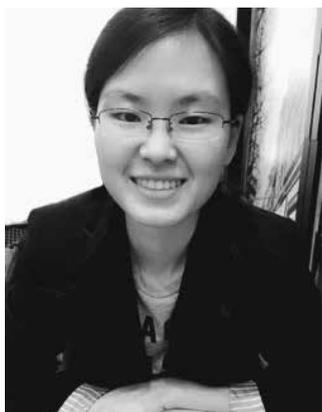


## 人生旅の途中

歯周診断・再建学分野 車 玉 蘭



皆様、こんにちは、はじめまして。

大学院2年生の車玉蘭です。地元は中国の黒龍江省牡丹江市、出身大学はハルビン医科大学です。牡丹江は中国で「雪の里」と呼ばれ、ハルビンは「氷の城」と呼ばれる四節分明の美しいところ

です。皆さん機会があればぜひ観光に来て下さい。寒がりの私ですが、このような雪と氷の町で生まれ育ちました。最初は新潟県県費留学生として新潟へ来ました。歯周診断・再建学分野の研究生として1年間留学することになって、歯周科が大好きになって2014年4月大学院生として入学しました。2年目になって、時間があつという間に過ぎていき、やりたいことが沢山あつて時間が足りないくらい充実しています。この2年間の生活を有意義に過ごす事ができて、いろいろな人に出会って、今まで体験した事の無い事をたくさん体験して、

昔はテレビでしか見る事のできなかったものを自分の目で直に見る事ができ、研究についても広い視点で考えることができ、自分にとって大変貴重なものとなりました。今後も日本の先生方と学生さん達と一緒に色々ないい思い出を作ることができたらと思います。

中学生の頃から日本語の勉強を始め、ずっと日本に興味をもっていました。日本での生活は充実しており、新鮮で、楽しいこともたくさんあった反面、新潟に来たばかりのころ、困ったことも決して少なくはありませんでした。でも、指導医の杉田先生から研究や臨床などの多くの事をご指導頂けていると同時に、生活の面でもお世話になっています。また、同じ班の花井先生と黒木先生には、困った事があれば助けてもらい丁寧に接して頂き、非常にささいな問題であっても、医局の先生方が非常に熱心に教えて、支えてくださります。人生は一期一会と言っても、人と人の縁が結ばれそれは一生の宝です。私はこの宝を胸に秘め毎日感謝の心で一步步新潟の生活を楽しんでいきます。

歯周科の一員として、臨床を経験しながら毎日



写真1 牡丹江の「雪郷」



写真2 ハルビンの「冰雪大世界」

新たな発見をしたり、現場で行われる“医療”を肌で体験しています。よい歯科材料、細かい技術だけでなく、スタッフ全員が親切に温かく患者さんに接し、治療に関しても丁寧に説明をして、計画的、また的確に治療をしたり、ユニットも洗面場等もいつもきれいであり、チーム医療などにも本当に感心しました。

最近、歯周病と全身疾患関連報告の増加に伴い、実際の治療だけでなく免疫と代謝による遺伝子関連性を解析することを通して研究の重要性を感じています。私は、杉田先生の班の一員としてMAEA、SIRT1、GLIS3などの遺伝子の多型による生物学的機能差が歯周炎および全身疾患に影響する研究を進めています。5月に鹿児島で開催された日本歯周病学会で初めて英語で口頭発表をして、沢山質問されてとても緊張しました。また、6月にソウルで開催されたIADRでポスター発表し、世界中の人との交流でき、大学院ならではの大変貴重な体験もさせて頂きました。基礎研究を絶やさず医学の進歩に貢献し、未知の疾患に挑戦する、私の理想とする歯科医師像を目指して頑張りたいと思います。

今回の留学経験は私の今後の生活に大きな影響を与えるものと感じています。自分でも驚くほど充実した生活をしていて、歯学を学ぶことが楽しいと感じています。また、自分の人生は自分の力で切り開いていく必要があると痛感しました。どん

なに辛くても、頑張っていればきっといいことがあると信じています。今回の留学は私の人生における最高の宝物になると感じています。

最後に、日頃から指導してくれる先生方にこの場を借りて心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



写真4 第59回日本歯周病学会2016年度春季学術大会で杉田班



写真3 平成28年度日本歯周病学会で発表している様子

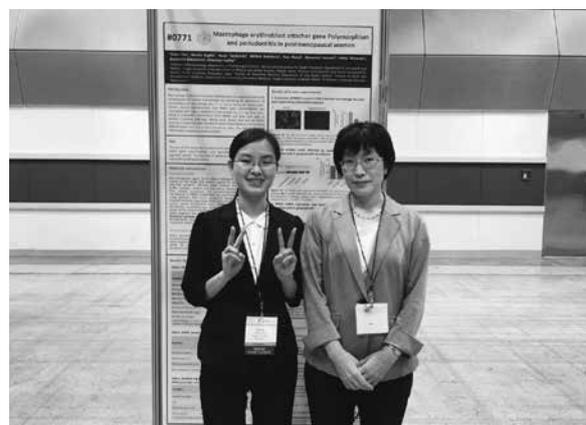


写真5 2016 IADRソウルにて